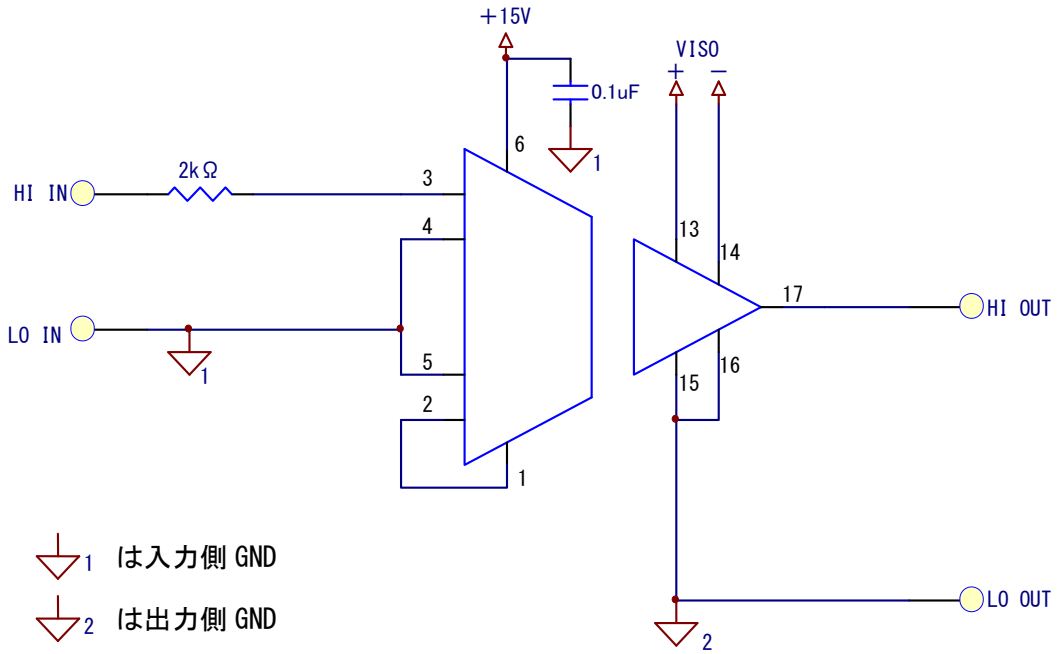
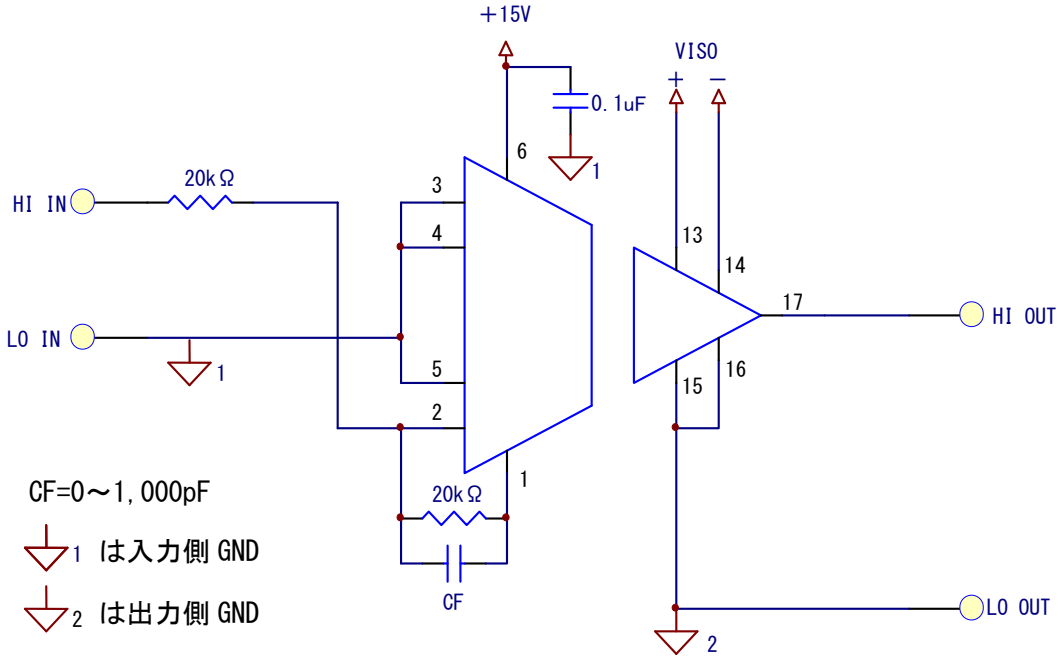
●基本接続回路

図 3-1、3-2 は利得 1 のアプリケーション用結線回路です。




（図 3-1　非反転動作 G=1）

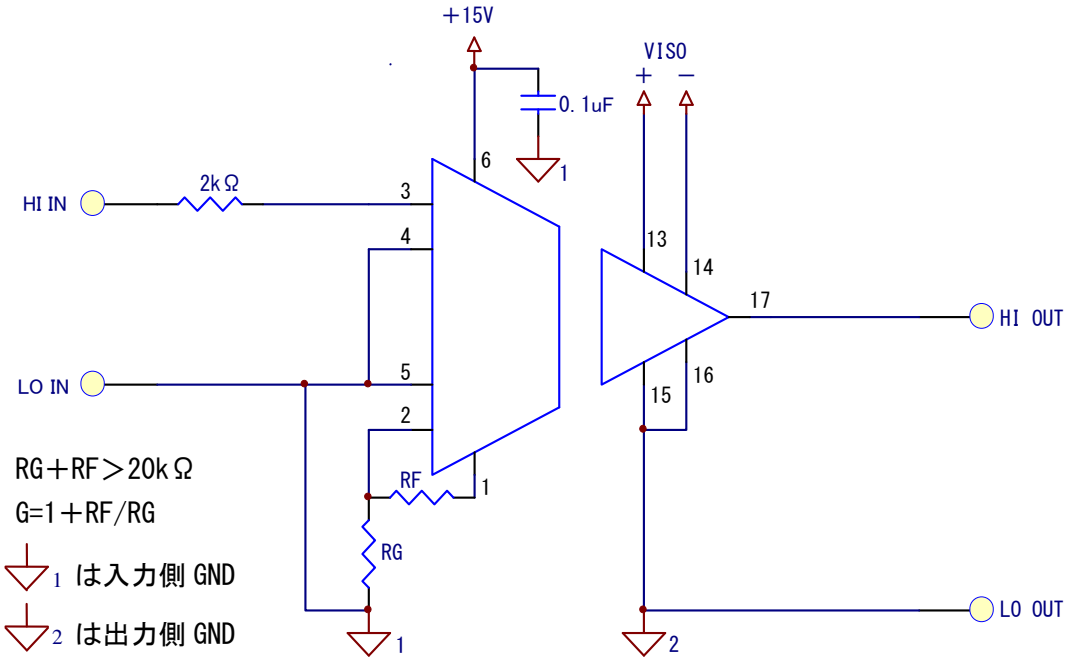
HI IN ラインの 2kΩの抵抗は信号ラインから電源ラインへの回り込み電流を防ぎ誤動作させないためのものです。ダイオードによる入力クランプ回路を追加される場合特に注意して下さい。



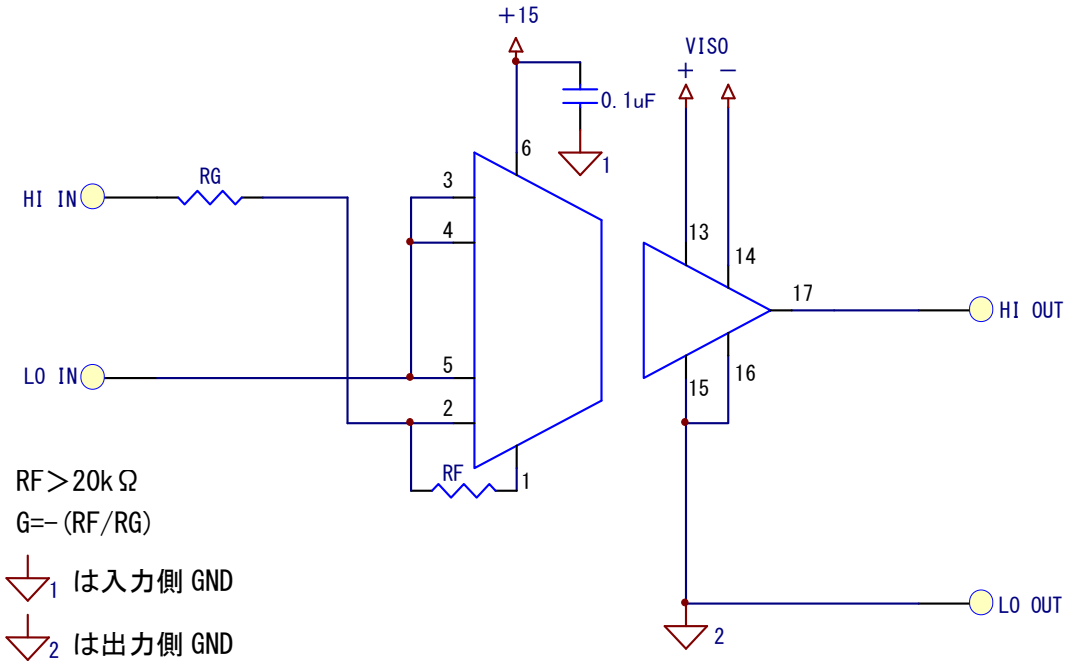

（図 3-2　反転動作 G=-1）

●基本接続回路

図 3-3、3-4 は利得 1 以上、つまり低レベル信号を増幅するときに有効な結線方法です。




（図 3-3 非反転動作　G>1）

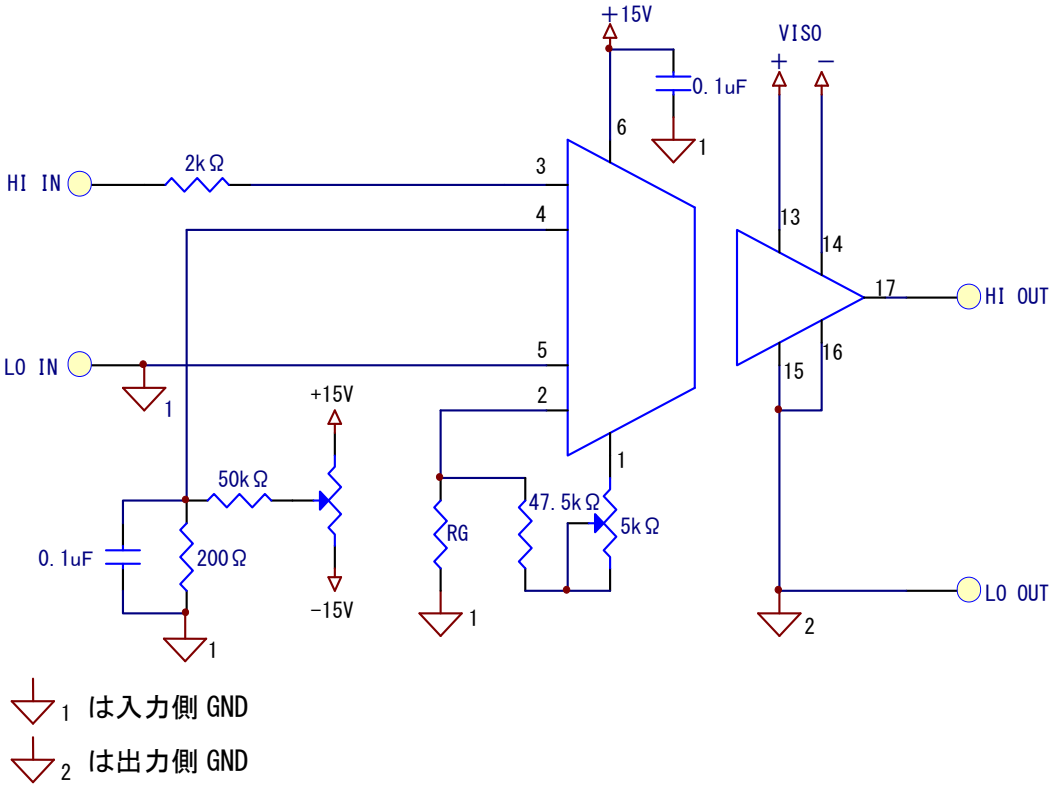



（図 3-4 反転動作　|G|>1）

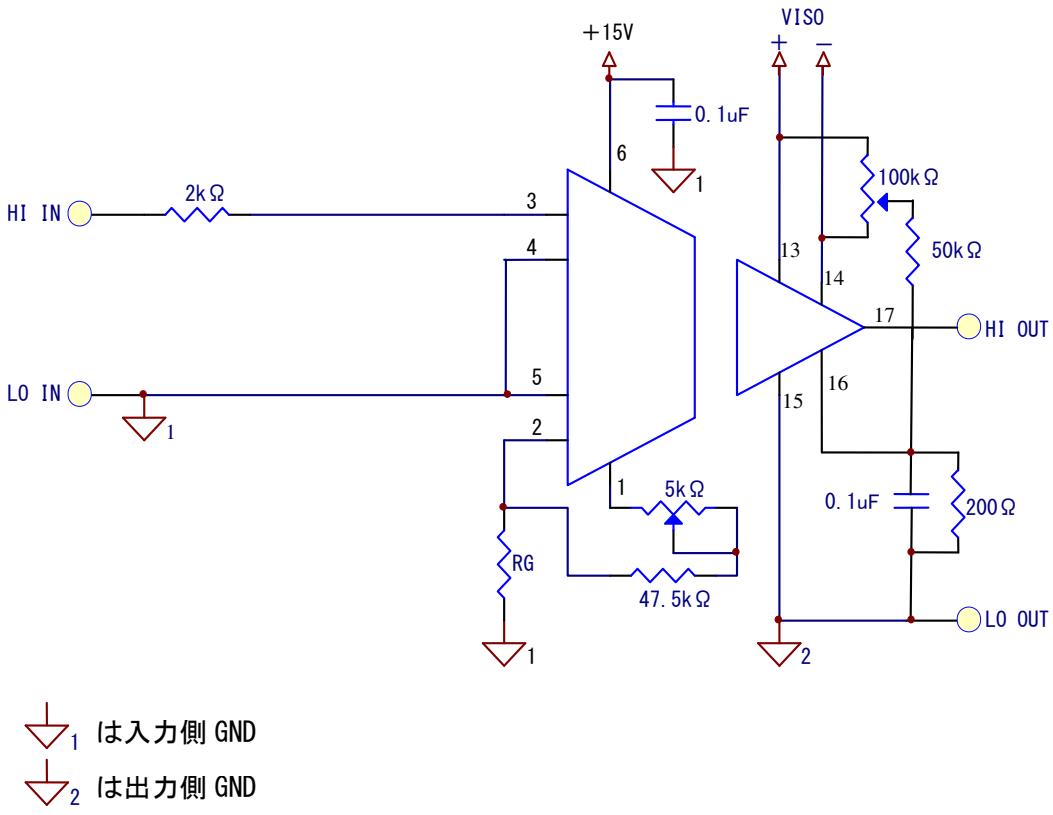
●ゲイン・オフセット調整方法

（非反転動作）

図 3-5、3-6 はゲインとオフセット調整が必要な場合の代表的な結線方法です。




（図 3-5　調整方法 1）

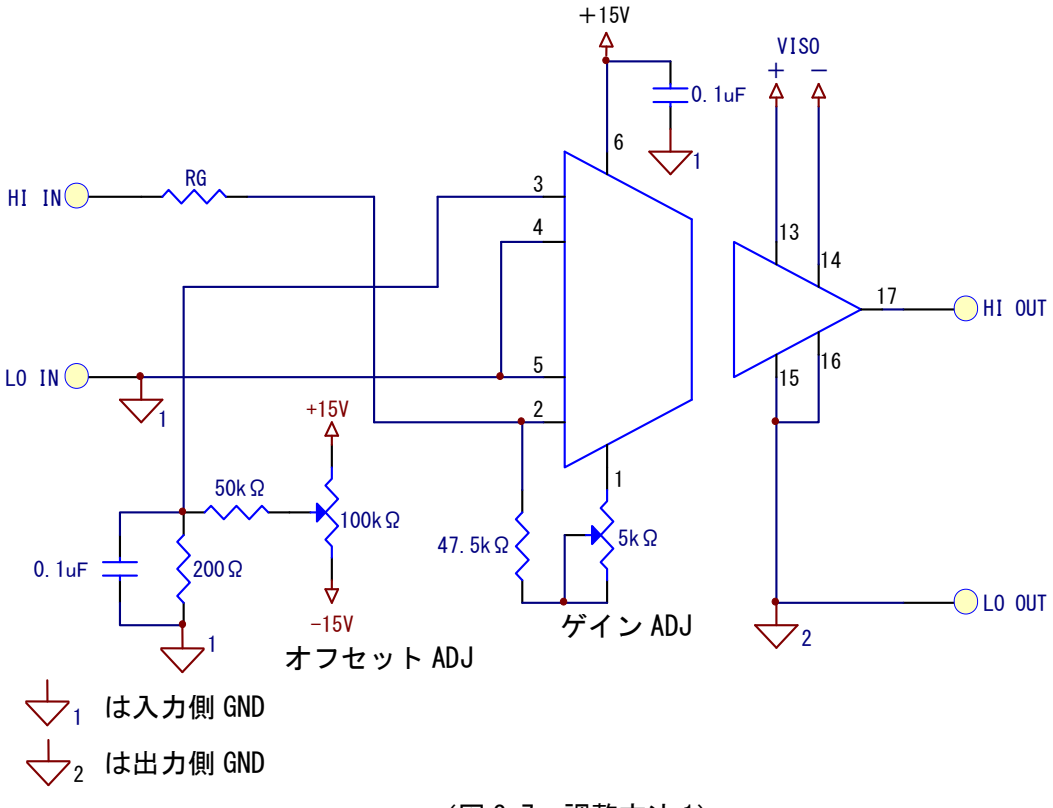



（図 3-6　調整方法 2）

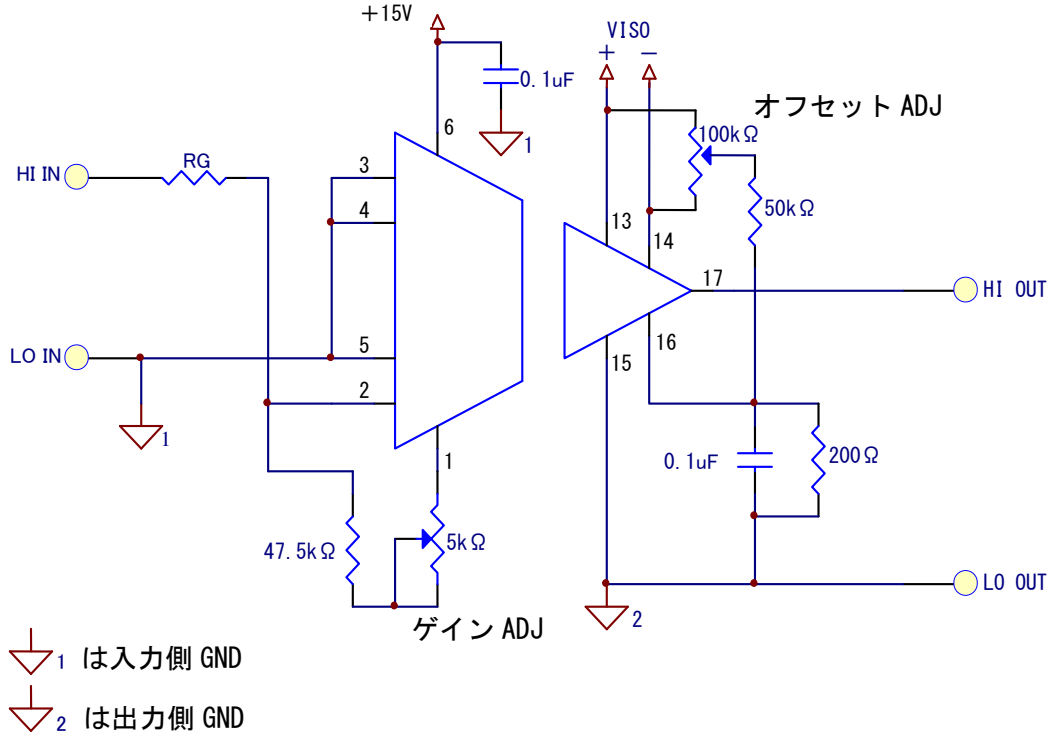
●ゲイン・オフセット調整方法

（反転動作）

図 3-7、3-8 は反転入力回路のゲインとオフセット調整の代表的な結線方法です。




（図 3-7　調整方法 1）




（図 3-8　調整方法 2）

20170712

【販売元】
グローバル電子株式会社
本　　社　TEL (03) 3260-1411　FAX (03) 3235-3663
大阪営業所　TEL (06) 6307-2324　FAX (06) 6307-2988
名古屋営業所　TEL (052) 777-1141　FAX (052) 777-1143
www.gec-tokyo.co.jp

【製造元】
グローバルマイクロニクス株式会社
〒277-0861 千葉県柏市高田字上野台子 1400 番地 1
TEL (04) 7143-8100（代）FAX (04) 7140-1861
www.global-micronics.co.jp